

がん薬物療法専門薬剤師養成研究会

がん薬物療法専門薬剤師養成小委員会

委員長 濱 敏弘

2023 年度のがん薬物療法専門薬剤師養成研究会は、「Basic Class」と「Advanced Class」を設置します。

目的	<p>◆Basic Class 主要がん種のがん薬物療法の基礎を学びます。講義と課題症例に対するワークショップを通して、がん化学療法の標準療法と薬剤師の介入ポイントを理解するとともに、問題解決型学習を身に付けることを目的とする。</p> <p>◆Advanced Class すでに東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成研究会 Basic Class を受講された会員、またはがん専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師資格取得者を対象として、患者の全身管理や標準治療を外れた患者に対する薬剤師としての介入ポイント等について、ディスカッションを通してスキルアップを図ることを目的とする。</p>																
参加資格	<p>◆Basic Class, Advanced Class 共通</p> <ol style="list-style-type: none">1) 東京都病院薬剤師会の正会員で病院・診療所勤務者であること2) 参加について所属長の上の了承を得られ、全ての回に出席できる方3) 現在がん領域に関する業務を実践しているか、または予定している方 <p>◆Advanced Class のみ</p> <ol style="list-style-type: none">4) 下記のいずれかに該当する方<ul style="list-style-type: none">・日本医療薬学会、日本病院薬剤師会、および日本臨床腫瘍薬学会が認定する【がん領域】に係る資格取得者・東京都病院薬剤師会「がん薬物療法専門薬剤師養成研究会 Basic Class」を受講済の方 <p>※これまでに各クラスの受講修了者の再受講は、定員割れがある場合のみ認める。 (初回受講希望者を優先とする)</p>																
募集人数	<p>◆ Basic Class …… 42 名</p> <p>◆ Advanced Class … 20 名</p> <p>◇ 聴講生 (特別講演のみ) … 20 名ほど (応募多数により抽選に外れた応募者を優先)</p>																
研究会の 主な内容	<ol style="list-style-type: none">1. 講義研修 …… Basic、Advanced 共通で行う2. グループワーク… Basic、Advanced に分かれて課題症例の検討を行う3. 確認試験 …… 講義研修の内容について確認テストを実施する																
今年度の 予定	<p>【開催日時 (全 4 回)】</p> <table border="1"><tr><td>第 1 回</td><td>R 5. 7 月 (土) 予定</td><td>14 : 00 ~ 18 : 00</td><td>テーマ : 消化器がん</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>R 5. 9 月 (土) 予定</td><td>14 : 00 ~ 18 : 00</td><td>テーマ : 乳がん</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>R 5. 11 月 (土) 予定</td><td>14 : 00 ~ 18 : 00</td><td>テーマ : 血液がん</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>R 6. 1 月 (土) 予定</td><td>14 : 00 ~ 18 : 00</td><td>テーマ : 肺がん</td></tr></table> <p>※講師等の都合により日程が変更される場合があります ★ニーズに合わせて公開講座を行う場合があります (参加費徴収は別で実施)</p>	第 1 回	R 5. 7 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 消化器がん	第 2 回	R 5. 9 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 乳がん	第 3 回	R 5. 11 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 血液がん	第 4 回	R 6. 1 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 肺がん
第 1 回	R 5. 7 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 消化器がん														
第 2 回	R 5. 9 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 乳がん														
第 3 回	R 5. 11 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 血液がん														
第 4 回	R 6. 1 月 (土) 予定	14 : 00 ~ 18 : 00	テーマ : 肺がん														
参加費	<p>8,500 円 (4 回分) ※研修シール郵送料込み 特別講演のみ受講 2,400 円</p>																

褥瘡領域薬剤師養成研究会

褥瘡領域薬剤師養成小委員会
委員長 関根 祐介

<p>目的</p>	<p>褥瘡における基礎を学び、事例を交えた検討により、臨床応用できる知識の修得を目指す。 ○皮膚の構造を理解した上で褥瘡を学び、栄養やポジショニングなど多角的観点で褥瘡治療を考える。体圧分散寝具、褥瘡モデルを用いた実習など、実践に応用できる研修会を構成。 ○症例検討では最適な褥瘡治療を考える。 ○多岐に渡るプログラムのもと、薬剤師としての専門性を活かした褥瘡への関わりをともに考えていく場とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 褥瘡の病態、ケアや治療の基礎を学び、褥瘡についての知識を深める 2) 多職種が関わる褥瘡治療において、薬剤師の役割を考える 3) 施設間で褥瘡への関わり方を交流しあい、新たな活動の一步とする 4) 事例検討を通し、症例から学び取る力を養う 5) 実習から、褥瘡への実践力を身につける 																		
<p>参加資格</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の了承を得られ、予定された研究会5回全てに必ず参加できる方 ※一度受講された方でも再受講可ですが、定員を超えた場合は初回の方を優先します。 																		
<p>募集人数</p>	<p>40名</p>																		
<p>研究会の 主な内容</p>	<p>○講義形式：1) 皮膚の構造、褥瘡・創傷治癒の仕組み 2) 褥瘡評価 (DESIGN-R2020 ツルを用いて) 3) 褥瘡の予防と栄養、栄養剤の選択 4) ドレッシング材について、薬剤について 5) 褥瘡の病態と治療について 6) 体圧分散 (マットレスの種類・選択基準、ポジショニング) ○ディスカッション：事例から褥瘡予防・治療を考える ○実習：1) 褥瘡処置の実際 (軟膏の混合、ガーゼや被覆材の使い方)</p>																		
<p>今年度の 予定</p>	<p>★開催日は土曜日の午後を予定しております。状況により日程及び開催方式が変更になる場合があります。</p> <table border="1" data-bbox="300 1384 1501 1977"> <thead> <tr> <th></th> <th>予定時間・場所</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 (5/13)</td> <td>15:00~18:00 Web</td> <td>・講義：「皮膚の構造・創傷治癒のしくみ」 ・講義：「外用剤・ドレッシング剤の基礎」 ・講義：「褥瘡チームの活動紹介」(1~4回)</td> </tr> <tr> <td>第2回 (6/17)</td> <td>15:00~18:00 Web</td> <td>・講義：「褥瘡状態の評価法 (DESIGN-R2020)」 ・講義：「創傷の状態に見合ったドレッシング材の選択」 ○症例検討 —DESIGN-R2020 をつける—</td> </tr> <tr> <td>第3回 (7/1)</td> <td>15:00~18:00 Web</td> <td>・講義：「褥瘡と栄養」 ・講義：「経腸栄養剤の種類と選択」</td> </tr> <tr> <td>第4回 (10/14)</td> <td>15:00~18:00 Web</td> <td>・講義：「体圧分散寝具とポジショニング」ほか ○実習：体圧分散寝具とポジショニング ○症例検討 —処置薬の選択—</td> </tr> <tr> <td>第5回 (11/11)</td> <td>15:00~18:00 Web</td> <td>・講義：「褥瘡の病態と治療」 ○実習：軟膏ミックスと褥瘡処置</td> </tr> </tbody> </table>		予定時間・場所	内容	第1回 (5/13)	15:00~18:00 Web	・講義：「皮膚の構造・創傷治癒のしくみ」 ・講義：「外用剤・ドレッシング剤の基礎」 ・講義：「褥瘡チームの活動紹介」(1~4回)	第2回 (6/17)	15:00~18:00 Web	・講義：「褥瘡状態の評価法 (DESIGN-R2020)」 ・講義：「創傷の状態に見合ったドレッシング材の選択」 ○症例検討 —DESIGN-R2020 をつける—	第3回 (7/1)	15:00~18:00 Web	・講義：「褥瘡と栄養」 ・講義：「経腸栄養剤の種類と選択」	第4回 (10/14)	15:00~18:00 Web	・講義：「体圧分散寝具とポジショニング」ほか ○実習：体圧分散寝具とポジショニング ○症例検討 —処置薬の選択—	第5回 (11/11)	15:00~18:00 Web	・講義：「褥瘡の病態と治療」 ○実習：軟膏ミックスと褥瘡処置
	予定時間・場所	内容																	
第1回 (5/13)	15:00~18:00 Web	・講義：「皮膚の構造・創傷治癒のしくみ」 ・講義：「外用剤・ドレッシング剤の基礎」 ・講義：「褥瘡チームの活動紹介」(1~4回)																	
第2回 (6/17)	15:00~18:00 Web	・講義：「褥瘡状態の評価法 (DESIGN-R2020)」 ・講義：「創傷の状態に見合ったドレッシング材の選択」 ○症例検討 —DESIGN-R2020 をつける—																	
第3回 (7/1)	15:00~18:00 Web	・講義：「褥瘡と栄養」 ・講義：「経腸栄養剤の種類と選択」																	
第4回 (10/14)	15:00~18:00 Web	・講義：「体圧分散寝具とポジショニング」ほか ○実習：体圧分散寝具とポジショニング ○症例検討 —処置薬の選択—																	
第5回 (11/11)	15:00~18:00 Web	・講義：「褥瘡の病態と治療」 ○実習：軟膏ミックスと褥瘡処置																	
<p>参加費</p>	<p>8,000円 (5回分) ※研修シール郵送料込み</p>																		

輸液・栄養領域薬剤師養成研究会 (水電解質異常から栄養管理まで)

輸液・栄養領域薬剤師養成小委員会
委員長 西澤 健司

目的	輸液・栄養療法に関する全般的な専門知識を習得し、医療チームの一員として適正かつ有効な輸液・栄養療法を支援できる基礎能力を育成する。		
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の上の了承を得られ、予定している研究会に全て参加できる方 3) 現在、輸液・栄養領域に関する業務を実施しているか、または予定している方 ※ 一度受講した方でも再受講可		
募集人数	48名		
研究会の 主な内容 ・ 今年度 の予定	開催日		内容
	第1回	R5. 6. 15 (木)	オリエンテーション 水・電解質異常の講義 (委員) 水・電解質異常症例検討
	第2回	R5. 7. 20 (木)	水・電解質異常の症例 発表 (各グループ) 水・電解質異常の解説 (講義: 医師)
	第3回	R5. 9. 14 (木)	酸・塩基平衡異常の講義 (委員) 酸・塩基平衡異常の症例検討
	第4回	R5. 10. 19 (木)	酸・塩基平衡異常の症例 発表 (各グループ) 酸・塩基平衡異常の解説 (講義: 医師)
	第5回	R6. 1. 18 (木)	栄養改善の講義 (委員) 栄養改善の症例検討
	第6回	R6. 2. 22 (木)	栄養改善の症例 発表 (各グループ) 栄養改善の解説 (講義: 医師)
	【開催時間】 18:00~20:00 【開催回数】 6回/年 ※講師などの都合により日程が変更する場合があります。		
参加費	6,500円 (6回) ※研修シール郵送料込み		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席時の資料は再配布しません。請求されてもお渡ししません。 ・ 参加者は東京都病院薬剤師会編「新・薬剤師のための輸液・栄養療法 第2版」(薬事日報社)を購入の上、事前学習をしておいてください。 ・ 特別講演会を開催予定です。 		

糖尿病領域薬剤師養成研究会

糖尿病領域薬剤師養成小委員会

委員長 井上 岳

厚生労働省の「2016年 国民健康・栄養調査結果」の推計では、国内の成人男女のうち糖尿病が強く疑われる者（糖尿病有病者）は約1,000万人で過去最多となっております。また、糖尿病の可能性を否定できない者（糖尿病予備軍）も約1,000万人とされ、合わせて約2,000万人もの耐糖能異常者が存在すると報告されています。1997年の調査開始以降、2007年の約2,210万人から減少傾向を示していますが、依然として高い数値で推移しています。また、糖尿病データマネジメント研究会（JDDM）の2021年度基礎集計資料によると、2型糖尿病患者の平均HbA1cの年次推移は低下傾向にありましたが、2014年より若干上昇し、2021年では7.11%となっております。

近年、糖尿病の薬物療法は、経口糖尿病薬、インスリン製剤およびGLP-1受容体作動薬など多岐にわたります。また、日本糖尿病学会より、2020年5月にインスリン非依存状態である2型糖尿病患者の治療が改訂され、初めて第一選択薬として「低血糖のリスクの少ない経口血糖降下薬療法を選択する」と明記されました。その後、2022年9月には「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」が発表されています。このような新薬の登場や既存の治療薬・治療法におけるエビデンスの蓄積とともに、糖尿病診療ガイドラインや治療指針は変遷しています。一方、通院加療中の糖尿病患者は、定期的な受診や服薬のみならず生活習慣を改善する厳格な自己管理が求められており、患者さん自身が治療法を十分理解し、日々の生活の中で実行していく必要があります。

このような中、日常診療の中で糖尿病患者さんに係わる薬剤師は、食事療法や運動療法など患者の生活習慣について知った上で患者指導する必要性があります。現在、日本糖尿病療養指導士認定機構が2001年より認定している日本糖尿病療養指導士（Certified Diabetes Educator of Japan：CDEJ）があります。CDEJとは、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理（療養）を患者に指導する医療スタッフのことであり、2022年6月21日現在、18,591名が認定されており、うち薬剤師は2,873名（15.5%）と、5職種の中で看護師、管理栄養士の次に多い職種です。また日本くすりと糖尿病学会が2016年より認定薬剤師制度が開始され、2019年度には薬剤師認定制度認証機構により認証された特定領域認定制度（P06）となり、2022年4月1日現在121名の糖尿病薬物療法認定薬剤師が認定されています。

本研究会では、将来CDEJや糖尿病薬物療法認定薬剤師の認定試験受験を希望される方、再度知識を確認されたい方、糖尿病患者さんへのかかわりが多い薬剤師を対象に、糖尿病療養指導に必要な基本知識を習得することができるよう研究会の構成を考えております。糖尿病患者さんへの療養指導こそが糖尿病の治療そのものであるとの立場から、糖尿病セルフケアをサポートしていける薬剤師の育成を目指しています。ご興味のある方、是非ご参加ください。

目的	1) 糖尿病の病態および治療の基礎について習得する 2) 糖尿病患者の心理と行動の基礎知識を習得する 3) 糖尿病の食事療法の基礎知識を習得する 4) 糖尿病薬治療薬の適正使用について習得する 5) インスリン療法および自己注射手技を習得する
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の方の了承を得られ、予定している研究会に全て参加できる方 3) 現在糖尿病領域に関する業務を実践しているか、または予定している方 4) 一度受講されてから5年以内の方は申し込みできません ※なお、申し込み多数の場合、未受講者を優先いたします
募集人数	64名

裏面へつづく

研究会の 主な内容	1) 最新の糖尿療養指導に関する講義 2) 症例検討、グループディスカッション 3) インスリン注射および自己血糖測定の手技指導 4) 確認テスト 5) その他																												
今年度の 予定	<p>【開催時間】 第 1, 3, 5, 6 回 : 14 : 00~18 : 00 第 2, 4 回 : 14 : 30~18 : 30</p> <p>【開催場所】 ・ Web 開催 (Zoom ミーティングにて開催) ※パソコンからのご参加をお願いいたします。</p> <table border="1" data-bbox="288 613 1490 1167"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>講演内容</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>R 5. 6. 24 (土)</td> <td>糖尿病の病態と治療</td> <td>医師</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>R 5. 7. 8 (土)</td> <td>糖尿病患者の心理と行動</td> <td>医師</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>R 5. 9. 9 (土)</td> <td>食事療法の基本</td> <td>管理栄養士</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>R 5. 10. 7 (土)</td> <td>薬物療法 1 (経口糖尿病薬とインクレチン製剤)</td> <td>医師</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>R 5. 11. 11 (土)</td> <td>薬物療法 2 (インスリンと CSII・SAP 療法)</td> <td>医師</td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>R 6. 1. 27 (土)</td> <td>SMBG およびインスリン手技指導体験</td> <td>薬剤師</td> </tr> </tbody> </table> <p>第 6 回に関しては、Web 開催という限られた環境での研究会となりますので、画面上での見学となりますが、各自でデバイス等を可能な範囲内でご用意いただきご参加いただくこととなります。詳細に関しては、第 5 回開催時にご案内いたします。 また、開催場所と日程につきましては、変更する場合がありますので、ご容赦ください。 変更がある場合、前の回の開催日までにご連絡いたします。</p>		開催日	講演内容	講師	第 1 回	R 5. 6. 24 (土)	糖尿病の病態と治療	医師	第 2 回	R 5. 7. 8 (土)	糖尿病患者の心理と行動	医師	第 3 回	R 5. 9. 9 (土)	食事療法の基本	管理栄養士	第 4 回	R 5. 10. 7 (土)	薬物療法 1 (経口糖尿病薬とインクレチン製剤)	医師	第 5 回	R 5. 11. 11 (土)	薬物療法 2 (インスリンと CSII・SAP 療法)	医師	第 6 回	R 6. 1. 27 (土)	SMBG およびインスリン手技指導体験	薬剤師
	開催日	講演内容	講師																										
第 1 回	R 5. 6. 24 (土)	糖尿病の病態と治療	医師																										
第 2 回	R 5. 7. 8 (土)	糖尿病患者の心理と行動	医師																										
第 3 回	R 5. 9. 9 (土)	食事療法の基本	管理栄養士																										
第 4 回	R 5. 10. 7 (土)	薬物療法 1 (経口糖尿病薬とインクレチン製剤)	医師																										
第 5 回	R 5. 11. 11 (土)	薬物療法 2 (インスリンと CSII・SAP 療法)	医師																										
第 6 回	R 6. 1. 27 (土)	SMBG およびインスリン手技指導体験	薬剤師																										
参加費	10,500 円 (6 回分) ※研修シール郵送料込み																												
その他	公開講座については、令和 6 年 3 月の土曜日午後、Web 開催予定です。 詳細が決まり次第ご案内いたします。																												

緩和医療領域薬剤師養成研究会

緩和医療領域薬剤師養成小委員会

委員長 伊東 俊雅

本研究会では、積極的な認定薬剤師の育成に力を入れるべく、本年度はWebにて養成研究会を開催いたします。この研究会は、緩和医療専門薬剤師の認定を見据えたものですが、実践力のある薬剤師を認定することを大きな目的の一つに掲げていますので、本研究会はその登竜門として最適の研究会であると考えます。また、緩和医療を取り巻く薬剤師の置かれる立場はさらなる知識・技能・態度を求められるようになりましたが、ボトムアップを目的に「初学者向けBasic Class」「認定者・実務者Advanced Class+公開講座」とし、緩和薬物療法のスキルアップだけでなく、在宅緩和ケアを見据えた退院調整や薬薬連携についての研修・講座開催などを行うことを予定し会員の皆様のご参加をお待ちしております。

目的	緩和医療を必要としている患者さんに積極的にかかわれる知識と実践力を身につける。
参加資格	◆Basic Class, Advanced Class、共通 1) 東京都病院薬剤師会の会員で病院・診療所勤務者である方 2) 参加について所属長の了承を得られ、 <u>予習および予定された講義に全て参加</u> できる方（厳守！） 3) 初学者、現在緩和ケア領域に興味がある、または緩和ケア領域の業務を予定・実施している方 ◆Basic Classのみ 4) 一度当会で修了証を発行された方の申込は出来ません。 ◆Advanced Class（症例検討参加者） 5) 現在緩和ケア領域に関する業務を実践している方 6) 下記のいずれかに該当する方 ・東京都病院薬剤師会「緩和医療領域薬剤師養成研究会（Basic Class）」を受講済み ・日本緩和医療薬学会「緩和薬物療法認定薬剤師」・「緩和医療暫定指導薬剤師」の資格取得者 または、がん関連薬剤師認定・専門資格含む資格取得者
募集人数	◆Basic Class …… 60名 ◆Advanced Class …… 40名
研究会主内容	◆Basic Class, Advanced Class 共通（難易度が異なります） ・緩和医療専門家による教育講演及び模擬患者を用いたSGD形式による症例検討・自己評価試験
今年度の予定	※日程・内容は変更になる可能性があります。正式な日程は第1回開催時に連絡する予定です。 ◆Basic Class（全5回）【開催時間】13:00~18:00 第1回 5月20日（土） 教育講座 緩和医療基礎講座 SGD オピオイド鎮痛薬の導入症例① 第2回 7月15日（土） 教育講座 痛みの包括的アセスメント SGD 鎮痛薬の評価を行う症例② 第3回 9月9日（土） 教育講座 がん疼痛の薬物療法 SGD がん疼痛マネジメント症例③ 第4回 11月11日（土） 教育講座 コミュニケーションを中心に SGD がん疼痛マネジメント症例④ 第5回 R6年2月10日（土） 教育講座 緩和における薬物療法（総合） SGD がん疼痛マネジメント症例⑤

	<p>*各研究会終了時に、研修内容の自己評価試験を行います。</p> <p>◆Advanced Class (全2回)【開催時間】13:00~18:00</p> <p>第1回 8月6日(日)</p> <p>特別公開教育講座 13:00-15:00</p> <p>SGD 15:00-18:00 がん疼痛マネジメント症例①</p> <p>第2回 R6年3月10日(日)</p> <p>特別公開教育講座 13:00-15:00</p> <p>SGD 15:00-18:00 がん疼痛マネジメント症例②</p>
<p>参加費</p>	<p>◆基礎コース……………10,500円(5回分)</p> <p>◆アドバンスコース……………4,500円(2回分)</p> <p>※研修シール郵送料込み</p>
<p>特別公開教育講座</p>	<p>※Advanced Classの教育講座を公開講座として、別途募集します。(定員200名)</p> <p>【参加資格】1)東京都病院薬剤師会の会員で病院・診療所勤務者</p> <p>2)東京都病院薬剤師会の会員で初学者、現在緩和ケア領域に興味がある、または緩和ケア領域の業務を予定している方</p> <p>3)東京都病院薬剤師会非会員の薬剤師・薬局薬剤師等</p> <p>【開催日時】令和5年8月6日、令和6年3月10日13:00-15:00 Web開催</p> <p>【参加費】会員(東京都病院薬剤師会・東京都薬剤師会)1,000円</p> <p>非会員 2,000円</p> <p>※シール郵送料込み</p>
<p>その他</p>	<p>◆基礎コース、アドバンスコース共通のZoom形式研修会について</p> <p>*SGDでは、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて、受講者6~8名のグループを編成し小グループ学習を行います。</p> <p>*基礎コース(聴講のみ含む)・アドバンスコース参加者はZoomアカウントを取得してもらい、参加時は原則としてビデオ機能をONにして御参加ください。事前に機器等の御準備をお願いします。</p> <p>*研修会は記録および出席確認のため、録画いたします。また参加にあってはアカウント名を「日本語表記」による氏名に変更して参加することが必要ですので、あらかじめ操作等御確認ください。</p> <p>*回線上限に到達すると回線ダウンの恐れがあります。複数機器からのダブルログインはご遠慮ください。</p> <p>◆特別公開講座のZoom形式開催について</p> <p>*特別公開講座は、別途募集を適切な時期に行います。</p> <p>*Advance Classの方は公開講座への申し込みは不要です。</p> <p>◆本研究会留意事項について</p> <p>*参加された方には、日本緩和医療薬学会認定シール(学会員のみ)も配布予定といたします。</p> <p>*認定シールは、Basic Class, Advanced Classいずれも年間でまとめてお送りします。</p> <p>*欠席された回の資料、認定シール等はお渡しできませんので、ご了承ください。</p> <p>*講師の都合により日程を調整または変更する可能性があります。</p> <p>*無断欠席、Zoomにおける長時間の離席・ビデオ機能不使用などにより出席と認められないもの等で3回以上カウントされた場合</p> <p>次年度の当該施設の本件研究会へのエントリーを御遠慮いただくこともありますので御留意ください。</p> <p>※他学会、日病薬の認定薬剤師講座等の必要講座を受講希望される方は、当研究会欠席時の正当理由にはあたりませんのでご注意ください。</p>

抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成研究会

基礎コース・アドバンスコース

抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成小委員会
委員長 木村 利美

MRSA、CRE、MDRP の院内感染が象徴するように、耐性菌の出現・蔓延化は、感染症の難治化ばかりでなく医療経済をも圧迫し、抗菌薬が世に出現して以来、常に共存し続けてきた問題であったことは言うまでもありません。感染症領域は、消毒剤や抗菌薬の適正使用において薬に関わる問題が多くあり、院内感染防止と Antimicrobial Stewardship (抗菌薬適正使用管理)、PK-PD 理論の実践、TDM、AMR 対策などは薬剤師が関わるべき必須業務となっています。政府は 2016 年に AMR (薬剤耐性) アクションプランを策定し 2018 年の診療報酬改定において、AMR 対策の推進、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の取り組みの推進に資する評価が出され、薬剤師は中心的な役割を果たすことになりました。

本領域の研究会は、基礎コースとアドバンスコースの 2 つのコース、半日講習会「基本を学ぼう！感染制御と感染症治療」「これから始める AMR の取り組み」を企画しています。コース研修は特別講演並びにワークショップに確認テストを組み合わせる形式で参加型、半日講習会は座学とアンケートを行います。また、今年度は基礎コースの抽選に外れた方から特別講演のみの受講希望を取ります (次年度再度申込可)。

いずれのコースも講師は感染症治療・感染制御等の関連学会の第一線で活躍されている医師、薬剤師、微生物学等の専門家を予定しており、一部、学会関連の認定・更新の単位にもなる内容で実施いたします。

参加資格	<p>◆基礎コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の下承を得られ、年 6 回の研究会に全て参加できる方 3) 抗菌化学療法・感染制御領域に従事している、あるいは下記 b・c 取得を目指している方 <p>※一度受講された方の申込みはできません。</p> <p>◆アドバンスコース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の下承を得られ、年 3 回の研究会に全て参加できる方 3) 下記のいずれかの条件を満たす方 <ol style="list-style-type: none"> a) 東京都病院薬剤師会の主催する「基礎コース」を修了された方 b) 日本病院薬剤師会の感染制御に関する認定・専門薬剤師を取得された方 c) 日本化学療法学会の抗菌化学療法認定薬剤師を取得された方 d) 既に抗菌化学療法チームあるいは感染制御チームに参加して上記認定を目指している方
募集人数	<p>◆基礎コース …………… 63 名 (特別講演聴講+SGD)</p> <p>※応募者多数の場合、抽選に外れた方から特別講演のみ受講者 22 名を募集します</p> <p>◆アドバンスコース …… 63 名 (基礎コースの受講、認定・専門を取得された方を優先します)</p>

今年度の
予定
研究会の
主な内容

◆基礎コース

【開催日時（全6回）】

開催日		内容	プログラム
第1回	R 5. 5. 27 (土)	感染症の病原体から見た 抗菌薬選択法	◎開催時間 13 : 45～17 : 45 ・ 13 : 45～14 : 00 共催企業の学術講演 ・ 14 : 05～15 : 20 (75分) 特別講演 ・ 15 : 20～15 : 30 確認テスト ・ 15 : 35～17 : 45 (130分) ワークショップ (SGL) 他
第2回	R 5. 7. 29 (土)	感受性データの読み方	
第3回	R 5. 8. 5 (土)	AMR と抗菌薬の適正使用 -PK/PD と投与設計-	
第4回	R 5. 9. 16 (土)	感染症の初期治療における 抗菌薬の選択	
第5回	R 5. 12. 9 (土)	インフルエンザの アウトブレイク対策	
第6回	R 6. 1. 20 (土)	消毒薬の適正使用 と感染制御	

◆アドバンスコース

【開催日時（全3回）】

開催日		内容	プログラム
第1回	R 5. 7. 8 (土)	<i>Clostridioides difficile</i> 感染症	◎開催時間 13 : 45～17 : 45 ・ 13 : 45～14 : 00 共催企業の学術講演 ・ 14 : 05～15 : 35 (90分) 特別講演 ・ 15 : 35～15 : 45 確認テスト ・ 15 : 50～17 : 45 (115分) ワークショップ (SGL) 他
第2回	R 5. 10. 21 (土)	呼吸器感染症	
第3回	R 6. 2. 17 (土)	発熱性好中球減少症	

◆基礎コース、アドバンスコース共通

- *ワークショップでは、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて、受講者6～7名のグループを編成し小グループ学習(SGL)を行います。
- *各研究会終了時に、Google Form等を用いて、研修内容の自己評価試験を行います。
- *講師の都合により日程を調整または変更する可能性があります。

参加費

- ◆基礎コース…………… 10,500円(6回分) ※研修シール郵送料込み
特別講演のみ受講 3,600円(6回分)
- ◆アドバンスコース …… 6,500円(3回分) ※研修シール郵送料込み

その他

- ・基礎コース・アドバンスコースは、「特別講演+ワークショップ+確認テスト」となります。
- ・基礎コースに外れた方で特別講演のみ受講希望者から更に抽選で22名募集します。特別講演のみ受講者は、次年度、再度基礎コースへの申込が可能です。
- ・基礎コース(特別講演のみ受講者含む)・アドバンスコース参加者はZoomアカウントを取得してもらい、参加時は原則としてビデオ機能をONにして頂きます。
- ・欠席された回の資料はお渡しできませんので、ご了承ください。
- ・研修内容が感染制御でなく、抗菌薬化学療法に関わる場合には、日本化学療法学会抗菌薬化学療法認定薬剤師の認定単位の取得を予定しています。
- ◆座学での感染症専門領域の半日講習会を11月(土)頃に開催予定です。
- ◆講演とパネルディスカッション等のAMRの半日講習会を2月(土)頃に開催予定です。

精神科専門薬剤師養成研究会

精神科専門薬剤師養成小委員会
委員長 高橋 結花

近年、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制が求められており、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築が進められています。地域において自立した社会生活を行うために、薬物治療は非常に重要です。精神科専門薬剤師は、リハビリを見据えた薬物治療が安全かつ適切に行えるように、薬物治療の専門家としてチーム医療の一員としての活躍が求められています。本研究会では、主な精神疾患の病態から薬物療法、服薬指導について、基礎から応用を含めて、知識とスキルを習得して頂けるよう計画しています。

目的	<p>◆Aコース 講義において主要な精神疾患およびその薬物治療および最新の知見について学ぶ。 ワークショップの症例検討では、薬物療法だけでなく、介入方法等について他施設薬剤師とのディスカッションを通してスキルアップを図る。</p> <p>◆Bコース 講義において主要な精神疾患およびその薬物治療について学ぶ。ワークショップの症例検討において、他施設薬剤師とのディスカッションを通して、薬剤師の介入ポイントを理解する。</p>			
参加資格	<p>◆Aコース、Bコース 共通 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の了承を得られ、全ての回に出席できる方</p>			
募集人数	<p>◆Aコース（精神疾患を有する患者に対して服薬指導経験のある薬剤師対象） … 12名 ◆Bコース（これから精神疾患および治療を勉強しようと思っている薬剤師対象） … 48名</p>			
研究会の 主な内容 ・ 今年度の 予定	<p>◆Aコース、Bコース共に同日時開催 【開催時間】14:00～18:30</p>			
		開催日	内容	
	第1回	R5. 6月17日（土）	テーマ	統合失調症
			ワークショップ	症例検討
	第2回	R5. 7月8日（土）	テーマ	双極性障害
			ワークショップ	症例検討
	第3回	R5. 9月2日（土）	テーマ	うつ病
			ワークショップ	症例検討
第4回	R5. 10月14日（土）	テーマ	認知症	
		ワークショップ	症例検討	
第5回	R5. 11月25日（土）	テーマ	睡眠障害	
		ワークショップ	症例検討	
参加費	10,500円（5回分）※研修シール郵送料込み			
その他	講師等の都合により、日程が変更になる場合があります。			

妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研究会

妊婦・授乳婦専門薬剤師養成小委員会
委員長 刈込 博

目的	<ol style="list-style-type: none">1) 妊娠・授乳期の母体の生理的な変化と特性、妊娠週数にあわせた胎児の薬剤感受性に関する知識を習得する。2) 妊娠・授乳期に使用される医薬品の薬理作用、体内動態、生殖発生毒性に関する知識を習得する。3) 妊娠中に使用した医薬品の生殖発生毒性の有無の評価に必要な情報評価ができ、この内容に関して医師及び患者とリスクコミュニケーションスキルを習得する。4) 妊婦・授乳婦との良好なコミュニケーションができ、関連の医師、助産師、看護師と連携して生殖医療に関連した生命倫理に配慮した服薬カウンセリングを行うための知識、技術を習得する。5) 生殖発生毒性の適切な評価に基づき次世代への健康被害を防止するとともに、過剰な不安から胎児の命が中断されたり、母乳栄養の利点が得られなくなることの無いように妊婦・授乳婦の薬学的支援を行うための知識、技術を習得する。																					
参加資格	<ol style="list-style-type: none">1) 東京都病院薬剤師会の会員2) 参加について所属長の了承を得られ、予定された講義に全て参加できる方																					
募集人数	80名																					
研究会の 主な内容 ・ 今年度 の予定	<p>【開催日時】 平日の18:30~20:30 (予定)</p> <ul style="list-style-type: none">・薬系教育講演・医系教育講演 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>開催日</th><th>内容 (予定)</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回</td><td>R5年5月22日(月)</td><td>「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」 「妊娠と母体の変化、胎児の発育」</td></tr><tr><td>第2回</td><td>R5年6月26日(月)</td><td>「先天異常の基礎」</td></tr><tr><td>第3回</td><td>R5年7月24日(月)</td><td>「妊娠中の糖代謝異常について」</td></tr><tr><td>第4回</td><td>R5年9月4日(月)</td><td>「妊婦服薬カウンセリングの実際」 「授乳婦服薬カウンセリングの実際」</td></tr><tr><td>第5回</td><td>R5年10月30日(月)</td><td>「AYA世代の乳癌診療」</td></tr><tr><td>第6回</td><td>R5年11月20日(月)</td><td>「新生児の生理的特徴と母乳栄養」</td></tr></tbody></table> <p>【開催回数】 6回/年 ※講師の都合により、日程、講義内容に変更が生じる可能性があります。</p>		開催日	内容 (予定)	第1回	R5年5月22日(月)	「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」 「妊娠と母体の変化、胎児の発育」	第2回	R5年6月26日(月)	「先天異常の基礎」	第3回	R5年7月24日(月)	「妊娠中の糖代謝異常について」	第4回	R5年9月4日(月)	「妊婦服薬カウンセリングの実際」 「授乳婦服薬カウンセリングの実際」	第5回	R5年10月30日(月)	「AYA世代の乳癌診療」	第6回	R5年11月20日(月)	「新生児の生理的特徴と母乳栄養」
	開催日	内容 (予定)																				
第1回	R5年5月22日(月)	「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」 「妊娠と母体の変化、胎児の発育」																				
第2回	R5年6月26日(月)	「先天異常の基礎」																				
第3回	R5年7月24日(月)	「妊娠中の糖代謝異常について」																				
第4回	R5年9月4日(月)	「妊婦服薬カウンセリングの実際」 「授乳婦服薬カウンセリングの実際」																				
第5回	R5年10月30日(月)	「AYA世代の乳癌診療」																				
第6回	R5年11月20日(月)	「新生児の生理的特徴と母乳栄養」																				
参加費	6,500円 (6回分) ※研修シール郵送料込み																					

臨床研究専門薬剤師養成研究会

臨床研究専門薬剤師養成小委員会

委員長 榎本 有希子

- ☑ 学会発表や論文投稿をしてみたいけど、何をすればいいの…？
 - ☑ 臨床研究について学びたいけど、機会がない…。
 - ☑ 何から手を付けていいかわからないし、教えてくれる人が少ない…。
- と、悩んでいませんか？



学会発表や論文投稿のもとになる”臨床研究”は、参考書を読んでも難しく、始めるまでの第一歩を踏み出せない…という方は多いです。

今では学会発表・論文投稿を多数行い、臨床研究に日頃携わるような委員会メンバーも、最初は同じ悩みを抱えていました。臨床研究には、「外してはいけないポイント」や「お作法」があります。

この研究会では、“臨床研究の始め方”について、「研究倫理とは…」、「研究計画の立て方」、「統計解析」などの具体的な内容を、実際に研究実施計画書を用いて、吟味・確認しながら学びます。

他の研究会よりも小規模で行い、同じ悩みをもつ仲間と意見交換しながら学べる研究会です。臨床研究は、どの専門領域でも活用することができるため、薬剤師としての可能性を広げます！「臨床研究の始め方」を学び、あなたの臨床研究をスタートさせましょう！

目的	学会発表や論文投稿に必要な臨床研究に関する基礎的な知識と技能を習得すること		
テーマ	「臨床研究、はじめの一歩」		
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の了承と推薦を得られ、予定している全ての回に出席できる方 3) 原則として、カメラ内蔵またはカメラ外付けのパソコンで参加可能な方 ※過去に受講されたことがある方も再受講可能です。		
募集人数	30名		
研究会の主な内容 ・ 今年度の予定	【開催時間】 19:00~21:00 【開催方法】 Web システム Zoom を使用したリモート研修（講義、グループワーク等） ※安定した通信環境がある場所でご参加ください		
	回数	開催日	内容
	第1回	R 5. 5. 18 (木)	学会発表・臨床研究に必要な知識を理解する 臨床研究を計画するプロセスについて学ぶ
	第2回	R 5. 7. 20 (木)	研究計画書の記載内容を理解する
	第3回	R 5. 9. 21 (木)	倫理委員会における審査のポイントを理解する 作成された研究計画書を吟味する
	第4回	R 5. 11. 16 (木)	統計学的検定手法の選び方を学ぶ 臨床データ解析に必要な基本的な統計の考え方を理解する
	第5回	R 6. 1. 18 (木)	インフォームド・コンセントのありかたを学ぶ インフォームド・コンセントを実践する
参加費	5,500円（5回分）※研修シール郵送料込み		

高齢者薬物療法領域薬剤師養成研究会

高齢者薬物療法領域薬剤師養成小委員会
委員長 金内 幸子

<p>目的</p>	<p>高齢者の特徴に配慮したより良い薬物療法を実践するための基本的留意事項を学び、処方見直しの基本的な考え方など臨床応用できる知識の修得を目指します。 薬剤師としての専門性を活かした高齢者薬物療法への関わりをともに考えていく場とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 加齢に伴う生理的な変化、腎機能の変化による薬物動態や薬物反応性についての知識を深める。 2) 多職種が関わる高齢者薬物療法において、薬剤師の役割を考える。 3) 施設間でポリファーマシー対策の関わり方を交流しあい、新たな活動の一步とする。 4) 症例検討を通し、症例から学び取る力を養う。 5) 処方見直し、処方提案の実践力を身につける。 																				
<p>参加資格</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の了承を得られ、予定された研究会4回全てに必ず参加できる方 3) 原則として、カメラ内蔵またはカメラ外付けのパソコンで参加可能な方 																				
<p>募集人数</p>	<p>70名</p>																				
<p>研究会の 主な内容</p>	<p>○講義形式：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者医薬品適正使用指針（ポリファーマシー対策含む） 2) 認知機能評価と服薬管理 3) 高齢者と嚥下機能障害の薬学的支援 4) 高齢者と生理機能・腎機能に基づく処方設計 5) 疾患領域（高齢者の高血圧治療、糖尿病治療、耳鼻咽喉科領域、など） <p>○ディスカッション：自身で模擬症例を作成し、適正な高齢者薬物療法を考える</p>																				
<p>今年度の 予定</p>	<p>【開催日時（全4回）】★Zoom 配信による開催。 内容に関して、講師との調整により変更もありますので、ご了承ください。</p> <table border="1" data-bbox="256 1384 1544 1935"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催予定日</th> <th>開催時間</th> <th>内容（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R5年 6月22日（木）</td> <td>18：30 ～20：40</td> <td>ポリファーマシー関連 認知症関連</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>R5年 9月21日（木）</td> <td>18：30 ～20：40</td> <td>高齢者嚥下性肺疾患、誤嚥性肺炎など呼吸器感染症領域</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>R5年 11月9日（木）</td> <td>18：30 ～21：00</td> <td>高齢がん患者の薬学的管理領域 グループにて症例検討</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>R6年 1月25日（木）</td> <td>18：30 ～21：10</td> <td>高齢者皮膚疾患領域 高齢者への薬物療法に関する症例検討、全体症例発表</td> </tr> </tbody> </table>		開催予定日	開催時間	内容（予定）	第1回	R5年 6月22日（木）	18：30 ～20：40	ポリファーマシー関連 認知症関連	第2回	R5年 9月21日（木）	18：30 ～20：40	高齢者嚥下性肺疾患、誤嚥性肺炎など呼吸器感染症領域	第3回	R5年 11月9日（木）	18：30 ～21：00	高齢がん患者の薬学的管理領域 グループにて症例検討	第4回	R6年 1月25日（木）	18：30 ～21：10	高齢者皮膚疾患領域 高齢者への薬物療法に関する症例検討、全体症例発表
	開催予定日	開催時間	内容（予定）																		
第1回	R5年 6月22日（木）	18：30 ～20：40	ポリファーマシー関連 認知症関連																		
第2回	R5年 9月21日（木）	18：30 ～20：40	高齢者嚥下性肺疾患、誤嚥性肺炎など呼吸器感染症領域																		
第3回	R5年 11月9日（木）	18：30 ～21：00	高齢がん患者の薬学的管理領域 グループにて症例検討																		
第4回	R6年 1月25日（木）	18：30 ～21：10	高齢者皮膚疾患領域 高齢者への薬物療法に関する症例検討、全体症例発表																		
<p>参加費</p>	<p>4,500円（4回分）※研修シール郵送料込み</p>																				
<p>その他</p>	<p>第3回：ポリファーマシー模擬症例提出、グループワークでのディスカッションとなります。</p>																				

臨床推論研究会

臨床推論推進特別委員会

委員長 添田 博

患者さんの訴えをどのように聴いたらよいかわからない。聴いてはみたものの、そこからどのように考えてよいかわからない。複雑な臨床の不確かさの中で、病棟や外来・在宅へと活躍の場を広げた薬剤師は、様々な場面でそうした状況に遭遇します。そこで必要になる『患者さんの疾病を明らかにし、解決しようとする際の思考過程やその内容』のことを、臨床推論といいます。

臨床推論は、医学領域では、診断から治療までの一連の思考過程の教育に使用されています。臨床の現場では、多職種に参加するカンファレンスなどでも症例プレゼンテーションと併せて患者情報や自分の思考を共有するために使用されたりします。薬剤師が臨床で、医薬品のプロフェッショナルとしての能力を発揮するために、この臨床推論を学ぶ場を設けたのが本研究会です。

臨床推論の考え方には様々な様式がありますが、本研究会では仮説演繹法といわれる方法で、特に患者さんと話すために必要な「病歴」に焦点を当てた学びを提供しています。「病歴」と聞くと誰でも知っているような内容に聞こえるかもしれませんが、その病歴情報を収集したり、活用したりすることは容易ではありません。患者さんに何が起きているのか、どのような情報を聴取すべきなのか、得られた様々な情報をどのようにスタッフと共有するのか。基本的ですが難易度の高いこの内容を、研究会では時間をかけて提供しています。また、そのようにして得た技術を臨床で生かすべく、実践的に症例を用いて考えるセッションも準備しています。なぞ解きをするように、考えることを楽しんでいただけるように準備しております。

本研究会は、臨床推論の基本を知っていただくことを目的とした全3回のコースとなります。委員一同で毎回内容を議論し、終了後には振り返りを実施し、研究会に参加される受講者の先生方に少しでも多くの学びをお持ち帰り頂けるように努めております。ベテランの薬剤師にとっては学び直すきっかけを、これから経験を積む薬剤師にとっては臨床で学ぶことのきっかけをご提供いたします。限られた年3回のコースですが、本コースとは別に公開講座および公開ケースカンファレンスも企画しております。本コースが受講者の方の学びの一助になるよう、委員一同、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

募集要項は裏面をご覧ください。

目的	臨床現場における臨床推論の思考プロセスを理解する。		
参加資格	以下の条件をすべて満たす方 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 参加について所属長の了承と推薦を得られ、全ての回に出席できる方 ※一度受講された方の申込みはできません。		
募集人数	20名		
研究会の 主な内容	第1回 基礎講座①：推論の思考を学ぶ 第2回 基礎講座②：病歴聴取、疾患の想起と病態生理 第3回 基礎講座③：病歴聴取、疾患の想起と病態生理 (講義・演習内容が変更になる場合があります。)		
今年度の 予定	(変更になる場合があります)		
		開催日	開催時間
	第1回	2023. 6. 20 (火)	18 : 00~19 : 30
	第2回	2023. 8. 16 (水)	
	第3回	2023. 10. 18 (水)	
			会場
			Web 開催
参加費	3,500円 (3回分)		
その他	<p>本コースは…</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床推論の入門編であり、熟達者のためのコースではありません。 Webでの参加型研修となっております。 開催回によって事前学習課題がある場合があります。 小児への推論の応用を想定していません。 専門領域薬剤師養成研究会と重複しての申し込みはできません。 <p>公開講座・公開ケースカンファレンス 本コースとは別に、公開講座および公開ケースカンファレンスを予定しています。</p>		